

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

ロータリーは世界をつなぐ

URL: <http://rc138.org>

E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2019年9月5日
第3391回例会

プログラム

ガバナー公式訪問
伊藤 靖祐君

(江南ロータリークラブ)

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

第3390回例会の記録
2019年8月29日(木)

会長挨拶 則竹伸也
皆様こんにちは。本日のお客様は修文女子高等学校インターアクトクラブの堀朱麗会長、舟橋琉那幹事、顧問の青山美香子先生、田島佑里亜先生です。後程活動報告をしていただきますので宜しくお願い致します。
さて昨夜はナゴヤドームで4年に一度開催される大学野球の早慶戦の応援に行きまして。白熱の試合もさることながら、観客席に設置された舞台上では、現役応援団やチアリーダーと共にOBの応援団も加わり、攻守の時間全てに息つく暇もない全力応援で、回を重ねるうちにどんどん盛り上がり、私達も老体に鞭打って頑張る応援していましたが、前方で観戦していた沢山の小中学生が大人達が一生懸命応援する姿を見て、いつの間にか皆が立ち上がり、いつの間にか皆が大声で応援したのです。しかも本当に楽しそうに！！その姿を見て何事も全身全霊で取り組む姿勢は必ず心に響くんだなあ、それを見て感動しました。私も今後色々な人々に関わる中で真摯に向き合っていかなければいけないなどあらためて思いました。

次回の予定

佐々木久直君
地区補助金申請事業説明



会長 則竹 伸也 副幹事 柄倉 勲
幹事 伊藤 幸一 副会長 猪子 誠児
会長エレクト 光崎 賢一 会報委員長 浅野 一

国際ロータリー第2760地区
2019~2020年度 ガバナー



伊藤 靖祐君 (江南RC)
生年月日 1959年11月1日
職業分類 幼稚園
勤務先 学校法人聖英学園
役職 理事長
ロータリー歴
2001年1月入会
2016~17年度 会長
マルチプルポールハリスフェロー
ベネファクター

理事会報告 伊藤幸一

- ※ 報告事項 ※
- ☆ 9月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 8月度のニコボックスは 54,000 円
- ☆ 8月度のドリンクニコボックスは 2,883 円
- ☆ 一宮市表彰条例表彰
- * 協議事項 * 以下の項目を承認
- ☆ 家族例会決算
- ☆ 70周年記念事業予算(案)
- ☆ 創立70周年記念式典会員案内
- ☆ 第4回地区米山記念奨学委員会登録
- ☆ 地区内社会奉仕委員長会議登録
- ☆ ワールドフード+ふれ愛フェスタチケット購入
- ☆ 米山一人100円寄付金
- ☆ 大江川クリーン作戦後援名義使用・協賛金
- ☆ 中日新聞いちのみや中央プラザ開館特集協賛広告掲載
- ☆ 9月末引落し家族例会登録料
- ☆ ワールドフード+ふれ愛フェスタチケット代

委員会報告

出席報告 委員長 大鹿晃裕
現在の会員数 113名
本日のビジター 0名
本日の出席数 71名
他クラブ出席数 12名
本日の出席率 73.45%
前々回の出席率 98.00%

ニコボックス

☆ 則竹伸也君 伊藤幸一君
修文女子高等学校インターアクトクラブ活動報告にて会長堀朱麗さん、舟橋琉那さん、顧問の青山美香子先生、田島佑里亜先生をお迎えした喜びで。

***** プログラム *****
インターアクトクラブ活動報告
修文女子高等学校インターアクトクラブ
会長 堀 朱麗さん、幹事舟橋琉那さん
顧問青山美香子先生、田島佑里亜先生



修文女子高等学校 インターアクトクラブ
会長の堀と幹事の舟橋です。本日は例会にお招き頂きありがとうございます。

インターアクトクラブの活動を4つの項目を中心に紹介していきます。

1つ目はボランティア活動についてお話します。あしなが学生募金活動は5月11日と12日に一宮駅で行われたものに参加してきました。入部したての1年生をはじめ3年生まで多くの部員が参加しました。大きな声で呼びかけたりピラ配りをしたりしました。なかなか受け取ってもらえなかった時は心が折れそうにもなりましたが、様々な人々に「頑張っね」と声をかけて頂き、とてもやりがいを感じました。秋以降にはあしなが学生募金や赤い羽根共同募金があります。また、夏休みには老人福祉施設と障がい者福祉施設に1年生と2年生が伺い、ボランティア活動をしてきました。どの内容も貴重な体験をすることができるので、積極的に参加したいと思っています。

2つ目の学友・青少年交流シンポジウムは、6月16日に名古屋学院大学名古屋キャンパスで行われました。紙で笛づくりをしたり、実際の地震と同じ規模の揺れを体験したりしました。非常食の説明を聞いたり、災害用のトイレを見たりもしました。その時、学んだことを活かせるよう、頂いた災害用グッズは自分たちの身近なところに置き、いざという時に役立つ用意ができました。

3つ目は年次大会についてです。今年度は7月15日に稲沢市にある名古屋文理大学文化フォーラムで行われました。昨年の年次大会に「look at the world」というテーマが発表されたので、世界について調べ始めました。その中から選んだのは、韓国とケニアについてです。それぞれの国の基本的な情報を調べるだけでなく衣食については実際に体験することを試みました。韓国の民族衣装チマチョゴリ、伝統料理のチズダッカルビ。ケニアの民族衣装カンガ、伝統料理のサモサやムキモ。それぞれの伝統料理は部員が休みの日に作りました。ケニアの民族衣装は色々な布を集め、作成したものをステージ上で着ました。長い時間発表の準備をするのは大変でしたが、今までよりも内容の濃い発

表をすることができました。
最後になりますが、学友・青少年交流シンポジウムで災害時の対策について学んだことをきっかけに、調理方法や水の確保の仕方や、非常時があると便利なものなどをまとめ、文化祭で発表しようと考えています。自分たちがまずは知り、それを多くの人々が共有することができれば、いざ災害が起こった時の助けになると思います。そこで、災害時には物の確保が大切だということを知り、その対策として、新聞紙で作る容器の作り方を紹介しました。ビニール袋を取り換えれば、洗う分の水を確保することができます。災害時に思い出して作って頂ければ嬉しいです。ご協力ありがとうございました。



青山美香子先生

7月23日から31日までの7泊9日、第32回海外派遣研修の副団長としてオーストラリアのパーズに行き参りました。今年度の海外派遣研修はロータリークラブより3名、教員2名の引率者5名と17インターアクトクラブから34名の参加者がありました。

保護者説明会、2回の宿泊事前研修、年次大会結団式を終え、中部国際空港での出発式、シンガポール経由パーズに向かいました。梅雨明け前の日本より少し涼しい冬の気候は大変気持ちがよく、1日以外は傘を使用することも無い絶好の天候に恵まれました。

ホストファミリーとの対面時には緊張した表情をしていた団員達でしたが、不思議なもので時間が経つにつれて柔らかい表情となり、最終的には「日本に帰りたくない」と涙で別れを惜しむという感動的なシーンばかりを目にしました。ホストファミリーや現地の高校生・小学生と英語でコミュニケーションを取るのは難しかったようでしたが、言葉の壁を乗り越えようと前向きに努力し、最終的には大きいと思っていた困難を乗り越えていく様子を見て、私自身も刺激を受けました。そして、帰国時の団員たちの自信に満ちた姿を見て、この海外派遣研修の活動の偉大さを痛感しました。このような素晴らしい活動を支援して頂いているロータリークラブの皆様から感謝を申し上げたいと思います。

実際に海外へ赴き、その土地の空気を吸い、自分の目で見て自然や文化を感じることは、想像以上に大きな体験になるということをお本校の生徒達にも伝えていきたいと思

例会変更案内

クラブ名	例会日	例会場	受付
一宮北	9月6日(金)	一宮商工会議所ビル1階	有